

平成 20 年度（第 1 回）高岡市男女平等推進市民委員会

会議録（要旨）

○ 日 時 平成 20 年 6 月 24 日（火） 14:00 ～ 15:10
○ 場 所 高岡市役所本庁舎 3 階庁議室
○ 出席者 ・ 委 員 16 人（大石会長、串田則子副会長、青木委員、穴田委員、石田委員、石橋委員、奥村委員、川田委員、串田幹夫委員、小間委員、西海委員、須賀委員、谷口委員、沙魚川委員、日尾委員、吉村委員） ・ 高岡市 8 人（橘市長、新井経営企画部長、坂下経営企画部次長、塚原男女平等・共同参画課長、野村男女平等推進センター所長、亀谷主幹、能登主査、徳市主任） ・ 傍聴者 5 人
○ 内 容 1 開 会 2 市長あいさつ ● 橘市長 ・ 皆様方には、日頃から本市の男女平等・共同参画の推進にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。 ・ この度は、本委員会の委員をお引き受けいただき、厚くお礼申し上げます。 ・ 本市では、市民委員会の皆様の多大なるご協力のもと、今年 1 月に男女平等推進プランを策定し、このプランに基づき、各種施策・事業に取り組んでいるところである。 ・ このたび、内閣府の「男女共同参画宣言都市奨励事業」において共催地の決定を受けた。 ・ 本市としては、男女平等・共同参画の推進の機運を高め、プランに掲げる「認め合い 支えあい 共に輝く ひととまち」を目指すため、「男女平等・共同参画都市宣言」を行いたい。 ・ ついては、市民委員会において、都市宣言文を作成いただきたく、お願いしたい。 ・ 本市の男女平等・共同参画の推進に相応しい、市民に親しみやすく、分かりやすい宣言文案となるようお願いしたい。 — 委員・高岡市職員紹介後、市長退席 — 3 会長・副会長の選任 ・ 委員の互選により会長（大石委員）を選任。 ・ 会長の指名により副会長（串田則委員）を選任。 大石会長 ・ ご指名をいただき、市民委員会の会長を務めさせていただくことになった大石である。

- ・ 会長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げる。
- ・ ご承知のとおり、ちょうど6月23日から、国の男女共同参画週間がはじまった。
- ・ 今年の標語は、「わかちあう 仕事も 家庭も 喜びも」であり、国の方では、今年を「ワーク・ライフ・バランス元年」と位置づけて、「働き方の見直し」が大変重要な課題となっており、仕事と生活の調和の実現を目指した様々な取組みが展開されており、今日らしい標語が最優秀作品に選ばれたなと思っている。
- ・ 私も、高岡市の男女平等・共同参画の推進にはご縁があって随分とかかわらせていただいている。
- ・ 昨年度は、高岡市が新市になってから初めての男女平等推進プランをこの市民委員会で答申させていただいた。
- ・ 今ほど、橘市長から、市の男女平等・共同参画都市宣言文の諮問を受け、責任の重大さを改めて感じているが、委員の皆様の顔ぶれを拝見し、大変心強く感じている。
- ・ 皆様方のご協力をいただきながら、この市民委員会がスムーズに進行するよう、努力したいと考えているのでよろしくお願いしたい。

4 男女平等・共同参画都市宣言について【資料№1】【資料№2】

- ・ 事務局（塚原課長）より説明

大石会長

- ・ 大変、短期間で作業を進めていかなければならない。
- ・ 「都市宣言文案」の策定にあたっては、市民委員会で審議していくことになるが、その前作業、草案について、起草委員会の方で専門的・集中的に案を練っていただき、その案を市民委員へ中間報告もして意見を反映させながら、最終的に市民委員会で決定していくということではいかがか。

— 異議なしの声 —

大石会長

- ・ 起草委員の選考についてはいかがか。

○委 員

- ・ 会長に一任したい。

大石会長

- ・ では、6～7人ということなので、高岡法科大学の谷口委員、前高岡市社会教育委員の吉村委員、高岡商工会議所の小間委員、高岡市連合自治会の川田委員、地域女性ネット高岡の串田則子委員、高岡女性の会連絡会の須賀委員、公募委員の青木委員にお願いしたい。よろしいか。

— 指名された全委員、了承 —

大石会長

- ・ それではよろしく願いしたい。
- ・ 何か、ご意見・ご質問等はないか。

○委 員

- ・ 男女平等・共同参画都市宣言は、市民に男女平等・共同参画の理念を訴えるよい機会であると思う。
- ・ その理念は、基本的には男女平等推進プランに根拠を求めるべきと考える。
- ・ また、男女平等推進プランで具体的な行動計画を定めているが、その進捗状況を把握し、検証していくことが大切であると思う。
- ・ 策定した宣言文はどのように市民にアピールしていくのか。まちなかで掲示したり、冊子したりして、普及啓発を行う方法も考えられるが。

大石会長

- ・ 普及啓発の方法については、今後、議論していきたい。

●塚原課長

- ・ 男女平等推進プランでは、指標を設け、具体的に数値目標を定めている。
- ・ 毎年度、その進捗状況を把握することとしており、これについては、今後、市民委員会でご報告したいと考えている。
- ・ プランは、具体的な取組みを定めたものであり、宣言は、市内外に発信していくというものである。
- ・ 毎年度、男女平等E X P O高岡を開催していることから、その機会に宣言文を披露し、市内外にアピールしていきたいと考えている。

大石会長

- ・ 9月に議会で議決されることで、宣言するということになるのか。

●塚原課長

- ・ おっしゃるとおり。
- ・ 議決されれば、その宣言文について「たかおか市民と市政」等で周知していきたいと考えている。

●新井部長

- ・ 宣言というのは、本来、市民全員で宣言していくという性質のものであるが、それは不可能であることから、市民の代表たる議会で議決というのが、ふさわしいと考える。
- ・ 市民委員会の答申を受けて、市長が議会へ提案し、議決という流れで考えている。
- ・ この宣言をどう普及啓発していくか、というご意見を先ほどから色々いただいたが、先ほど塚原課長からも説明があったように、まずは「男女平等E X P O高岡」において、普及啓発を図っていきたい。また、その他の方法についても検討していきたい。

- ・ 委員の皆様にもぜひ、普及啓発に取り組んでいただきたいと考えている。

○委 員

- ・ 宣言文は、概ね、条例やプランの基本理念をふまえたものになるのではないかと。
- ・ より実行性の高いものになるようにしたい。

○委 員

- ・ この委員会では、公募委員という立場であるが、その他、男女平等推進センター登録団体ネットワーク、E ネットの代表をしているので、そのメンバーの意見も反映させていきたいと考えている。
- ・ 私は、宣言をすることによって、メリットとデメリットがあると思う。
- ・ 宣言をすることが大事なのではなく、それによって、具体的にどう取り組み、どう変えていくのか、ということが大切だと考える。

●新井部長

- ・ 大変貴重なご意見をいただいた。
- ・ 宣言では、どうしても気運の醸成や理念を訴えるという性格になる。
- ・ 何をどうしていくのか、ということについては、今年1月に策定したプランに示されており、これを、これから進むべき道標としたい。
- ・ 様々な市民の皆様のご協力のもと、新市になってから初めてプランを策定したこともあり、今がその気運を醸成するいい時期であると考えている。
- ・ 色々実際に活動しておられる方のご意見は、貴重であり、検討の中で生かしていきたい。

○委 員

- ・ 条例やプランは、受け止める一般市民の立場からすると重く、とっつきにくいものであるが、宣言文は、他都市の事例をみる限り、受け止めやすいものになっているようである。
- ・ 条例やプランで示されている基本理念をどう分かりやすい言葉に置き換えていくかが課題であると思う。

○委 員

- ・ 行動を起こしたときに、「これが宣言文の文言（内容）なのだ。」と分かるものにしていく必要がある。
- ・ 実行したときに「なるほどな。」と分かる、分かりやすい表現にものにしていく必要がある。

大石会長

- ・ 分かりやすい宣言文がきっかけとなって、プランの具体的な行動計画に目がいていただく市民が増えることを期待している。

○委 員

- ・ 県男女共同参画推進員の活動をこれまで2年間してきている。
- ・ この活動を振り返ってみると、高岡市というところは、正直、推進員の活動がしにくいところと感じる。
- ・ 宣言をすることによって、今後活動する2年間で、どのように活動しやすいものになっていくのかという期待を持っている。
- ・ 何かこの宣言をすることにより、形ある結果を期待する。

大石会長

- ・ ほかに何かご意見は。
- ・ 高岡女性の会連絡会としての意見を須賀委員よりいただいているが、ご本人が別の会議に出席されているので、事務局より説明とそれに対する回答をお願いしたい。

●亀谷主幹

- ・ 須賀委員に代わって、高岡女性の会連絡会からいただいたご意見を発表させていただく。
- ・ 宣言の名称については、高岡市の条例・計画の名称及び考え方により、「高岡市男女平等都市宣言」にすることを要望する。
- ・ 「宣言」イベント実施にあたって、広く市民に推進する好機とし、「宣言」の場は、最も効果的な場所とタイミングで行うべきと考える。
- ・ 男女平等推進ネットワーク会議との「協働」で実施すると聞いているが、広く市民（地縁団体・企業・市民活動団体等）の参画も得て、準備段階がエンパワメントの機会となることを期待する。多様な団体がイベント主催者、または共催者となって「宣言」することで、様々な場所であと一歩推進する契機となることを期待する。
- ・ 「だれ」が「だれ」に向かって宣言するのかを明確にし、単なるイベント実施に留まらず、費用対効果も念頭に置き、充実した「宣言」になることを望む。これを契機に「モデル自治会」を作る、「DV撲滅」のための新たな取り組みをスタートするなど、行政が、実態を変えるためにあらゆる仕掛けをする。または、実態を変えたいと思っている個人・事業体等の後押しをするなど、「具体的に実態が変わる取り組み」になるよう要望する。

大石会長

- ・ 具体的なご意見をいただいたが、これについて事務局はどのように考えておられるのか。

●塚原課長

- ・ 宣言の名称については、国の男女共同参画宣言都市奨励事業と連携して行うということ、また、「男女平等・共同参画」の推進と実現について定めた本市の条例の趣旨から、「男女平等・共同参画都市宣言」としたいと考えている。
- ・ その他のご意見については今後、検討していきたい。

5 その他

大石会長

- ・ その他、ご意見はないか。

○委 員

- ・ スケジュールを見ると、7月上旬まで草案としてまとめなければならないという状況なので、本日の市民委員会終了後、起草委員は残って、起草委員会の運営等について、すり合わせておけば効率的に作業が進められるのではないかと思うがいかがか。

○委 員

- ・ 時間もないのでその方がよいと思う。

大石会長

- ・ できれば、そうしていただいた方が効率的かと思う。
- ・ 会場の都合はよろしいか。

●塚原課長

- ・ 大変ありがたく、感謝申し上げます。
- ・ 幸い、午後一杯、この会場の使用許可を取ってあるので、引き続き使用可能である。

大石会長

- ・ それでは、よろしくお願いいたします。
- ・ さて、私の方から少し気づいた点について申し上げますと、本日も傍聴の方がいらっしゃっているが、プラン作成起草委員会の際に、団体の方から起草委員会の傍聴希望の問合せが事前にあったかと思う。
- ・ もし傍聴希望があった場合、市民委員会では原則的に、その都度、傍聴の認否について出席委員の皆様を確認をしている。
- ・ しかし、起草委員会では、内部作業をする機能であるので、傍聴については適切でないと考える。
- ・ プラン作成時と同様、承認しない方向で、と考えるがいかがか。

— 異議なしの声 —

大石会長

- ・ それでは、起草委員会は非公開とすることにしたい。
- ・ その他、ご意見があれば伺いたい。

○委 員

- ・ 宣言文は、分かりやすい、親しみやすいものが良い。
- ・ 中学生や高校生など、次世代を担う人達が、気軽に発表できるような仕組みが必要と考え

る。

- ・ 例えば、宣言文を名刺にするといったことも考えられる。
- ・ 宣言の披露の場には、ぜひ中学生や高校生も巻き込んだ形で行うことをお願いしたい。

大石会長

- ・ その披露については、男女平等 E X P O 高岡が考えられるが、これについてご意見は。

●塚原課長

- ・ 明後日の 26 日（木）に開催する男女平等推進ネットワーク会議において、検討していきたいと考える。
- ・ 男女平等・共同参画意識の啓発・普及のシンポジウム事業を実施する男女平等 E X P O 高岡実行委員会の母体は、男女平等推進ネットワーク会議である。この会議は、市内の 24 の団体の代表者と 3 人の公募の方で構成されており、中には教育関係者もおられる。

●新井部長

- ・ 市民委員会の委員からの意見は、ネットワーク会議の推進員へ伝えるとともに、今後、ネットワーク会議での検討状況を、市民委員会においてお知らせしていきたい。

大石会長

- ・ ぜひ、本日の意見を反映させていただきたい。

○委 員

- ・ 起草委員会の非公開については、了解している。
- ・ ただ、審議の過程について、広く市民が知るための仕組みは必要と考える。
- ・ 議事録をホームページで公開することを希望する。

●塚原課長

- ・ 市民委員会の会議要旨についてはホームページに掲載していきたい。
- ・ 市民委員会で作成した宣言文素案について、7 月 18 日から 31 日まで、意見募集する予定であり、市民の意見を反映させていきたい。
- ・ 第 2 回の起草委員会の後、中間草案を市民委員の皆様へ郵送させていただき、ご意見を伺いたいと考えており、その際には、各委員が所属されておられる団体にお知らせいただきたい。

大石会長

- ・ 大変貴重なご意見を多数いただき感謝申し上げます。
- ・ 起草委員の皆様には、お疲れのところ、ご苦労をおかけするが、本日引き続き協議をお願いしたい。

〔以 上〕